

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍以降、生協加入が低迷していましたが、2025年9月より、食堂の2重価格を実施し、加入者・未加入者の金額を明確にすることで生協加入の推進を行いました。

2026年入学の新生入生からは、入学時から2重価格となっている為、さらに生協加入が推進できるものと思います。

また最近では講義のノートをiPadで取る方が増えており、販売とサポートを生協で行っています。パソコンと合わせ、先輩の経験を伝えて、スムーズに充実した大学生活が行えるようにしてまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。



大東文化学園生活協同組合  
専務理事 石橋 健司

## 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

大学の入学者数の減少が続いており、生協をめぐる事業環境は厳しさを増していますが、大学の建物の改装工事により購買書籍部が2026年4月にリニューアルオープンすることになり、焼き立てパンや日替わり弁当など新たな商品の取り扱いを準備しています。学生委員会は店舗企画（アイス人気投票など）や学園祭での平和展などの活動を継続して行っており、新生入生に向けた冊子づくりや歓迎企画の準備を進めています。

2026年は学生の食を支える事業を中心に生協経営の再建に向けて生協役員、学生委員、生協職員と力を結集し、頑張っていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



十文字学園生活協同組合  
専務理事 矢葺 誠司

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

淑徳大学埼玉キャンパスでは経営学部の東京移転に伴うキャンパス人口の減少、既存学部の入学定員充足不足などが重なり、組合員数・利用率ともに減少傾向が続いています。店舗運営の合理化などに取り組みつつも赤字は解消できず、小規模生協としての存続が問われる状況にあります。

今年はこうした状況をキャンパスの皆さまと共有するとともに、限られた資源を効果的に生かして、組合員数・利用率を向上させていかなければなりません。危機は大きな転機でもあります。皆さまからのご助言とご支援を賜りながら、持続可能な運営体制の確立に全力で取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



淑徳大学みずほ台生活協同組合  
専務理事 松原 健司

## 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

物価高が続く一方で実質賃金は伸び悩み、家計は一段と厳しさを増しています。暮らしに身近な商品を特別価格で提供する「暮らし応援全国キャンペーン」では、昨年も多くの方々にご利用いただき、その厳しい生活環境を改めて実感しました。

米価高騰、食料自給率低迷、気候変動、後継者不足など農畜水産業を巡る課題は深刻化しています。生産者が安心して従事できる環境づくりと、持続可能な生産と消費の取り組みをいっそう推進します。

昨年は国際協同組合年として、全国の協同組合とともにその価値を発信しました。この流れをさらに広げ、組合員や地域、生産者や取引先、行政、諸団体など多様なパートナーと「ともに」の力で連携し、笑顔の明日を迎えられる社会をめざす決意です。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



コープデリ生活協同組合連合会  
代表理事 理事長 熊崎 伸

## 埼玉県生活協同組合連合会

# 埼玉の生協

2026年新春号



## 新しい年を迎えるにあたって ～ずっとくらしの中に～

あけましておめでとうございます。

昨年も埼玉県行政をはじめ、県議会、県内諸団体の皆さまより、当会および埼玉県内の生協に対し多大なご支援をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は2回目となる国際協同組合年として、県内の生協では、前回にも増して協同組合についての学習や広報に旺盛に取り組むとともに、県内の協同組合の皆さまとの連携・協力の輪を広げてまいりました。大野元裕埼玉県知事からは協同組合への応援メッセージをいただき、国会では「持続可能な地域社会づくりに当たってはその有力な主体として協同組合を位置付けること」などが盛り込まれた決議が採択され、大きな励ましをいただきました。引き続き、国際協同組合年で期待された持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた実践を進めてまいります。

昨年は被爆・戦後80年の節目の年でもあり、県内の生協では、埼玉県原爆被害者協議会をはじめとした関係団体の協力を得ながら、これまで以上に平和を学び考え、戦争体験や被爆体験を次世代に継承する企画を多彩に行いました。平和への

願いを確かなものとするために、被爆・戦後81年、82年と継続して取り組んでまいります。

さて、埼玉県生協連は埼玉県消費者団体連絡会と埼玉消費者被害をなくす会の事務局を担い、専門家、県内消費者団体と連携して消費者被害防止に取り組み、とくにこの10年来、被害の未然防止に向けた啓発を地域で行うため、埼玉県が進める消費者被害防止サポーターの養成や高齢者等見守り活動に協力してまいりました。この間、活動の財源となる消費者庁の交付金の継続を専門家と消費者団体が連携して国に要請し、埼玉県議会からは国への意見書も発出され、交付金の継続が実現する運びとなりました。交付金が有効に活用され、見守り活動がいっそう促進されますよう、引き続き協力してまいります。

埼玉県生協連は協同組合の一員として、また助け合いの組織として、「安心してくらし続けられる地域（埼玉）社会」と「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現に向け活動を進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



埼玉県生活協同組合連合会  
会長理事 吉川 尚彦

## 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

能登半島地震から2年、コープみらいは被災地の復興を願い、募金活動をはじめ、今年度も職員3名をコープいしかわに派遣し配達業務を支援。組合員親子を観劇に招待し、避難生活の疲れを癒す企画も行いました。今後も被災された方々に寄り添った支援を続けます。

昨年の「被爆・戦後80年」を契機に、次世代へ平和を継承する取り組みが広がりました。小中学生が参加する「子ども平和新聞プロジェクト」で平和への学びを深め、本部には広島市から贈られた「被爆アオギリ二世」の苗木を植樹。NPT再検討会議にも生協代表団として参加予定です。

助け合いの組織として社会課題の解決をめざし、「ビジョン2035」の実現に向け、これからも事業と活動の総合力でくらしに貢献してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



生活協同組合コープみらい  
代表理事 理事長 熊崎 伸

## 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

昨今の異常気象や自然災害の激甚化、世界的な紛争の長期化、物価高騰や貧困格差など私たちのくらしを取り巻く社会的課題が山積しています。こうした状況の中、組合員のくらしと地域社会を支える生活インフラとしての生活協同組合の役割の重要性を再認識しています。

パルシステム埼玉は、安全・安心な食とくらしを支える事業を中心に、持続可能な社会を目指して、食や農業、環境、地域福祉、平和を包括したサステナブルアクションを推進しています。2026年も、組合員、生産者、メーカー、地域の方々と力を合わせて、理念である「心豊かなくらしと共生の社会創り」の実現に向け事業と活動の両面から取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



生活協同組合パルシステム埼玉  
理事長 西内 良子



## 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

昨年は、新春賀詞交換会において日本被団協の田中さんのお話を伺い、平和の大切さを改めて感じる年始となりました。

そして、秋には台湾での生活クラブ生協と台湾の主婦連盟生協、韓国の幸福中心生協との3姉妹提携26周年記念行事に参加し、国境を越えて、協同組合の仲間と率直に話し、励まし合いました。この活動も平和だからできたことです。

2026年も様々な課題に対して、組合員や生産者、協同組合の仲間とともに話し合い、解決に向けて行動していきたいと思います。

1月24日(土)に映画『丸木位里 丸木俊 沖縄戦の図 全4部』を上映します。平和のために、一人ひとりが何をすべきか話し合う機会にしたいと思います。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



生活クラブ生活協同組合  
理事長 村山 なみ

## 地域の医療・介護を守り 前進させる年に

新しい年を迎えました。

コロナ禍の影響に加え、円安と物価高騰などにより、全国の医療・介護事業所はかつてない程の厳しい経営環境に晒(さら)されています。全国の7割の病院が赤字で、「ある日突然地域から病院がなくなる」懸念が現実化してきています。

誰もが歳を重ね高齢者となります。いざという時に、必要な医療や介護が届く仕組みを作っておくことが求められます。そのために国民1人1人が自分事としてこの問題に向き合うことが必要です。

医療生協さいたまは、県内に5つの病院をはじめ計40の医療・介護事業所を展開し、24万の組合員とともに、健康づくり地域づくりに取り組んでいます。

こうした力を活かして、いのちとケアが大切にされる社会の実現に向けて、目に見える前進が得られる1年にしたいと願っております。ともに頑張ってもらいましょう。



医療生協さいたま生活協同組合  
理事長 増田 剛

## これまでも、これからも 「組合員が主人公」をつらぬいて

あけましておめでとうございます。物価の高騰が止まりません。県民、組合員の暮らしは厳しさを増し、直近のGDPは対前年度比で数年ぶりのマイナス成長と報道されています。住宅生協を取り巻く環境も、資材高騰・高止まり、職人不足と大変な状況が続いています。

こうした中、安定した事業運営をしていくために、総代会で掲げたスローガン「組合員の信頼に応え組合員を主人公に」をつらぬき、国、県、市町村などの補助金制度を活用し、住まいの断熱化、耐震リフォームなど、組合員のニーズをとらえて住まいづくりに取り組み、「SDGs」にも貢献してまいります。「住まいは人権」を合言葉にし、生活協同組合らしい取り組みでさらに前進を目指し、努力を重ねていきます。

今年が皆さま方にとって、健康で笑顔あふれる年になることをお祈りし、新年のあいさつといたします。



さいたま住宅生活協同組合  
理事長 後藤 晴雄

## 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

国立社会保障・人口問題研究所によると「日本の総人口は50年後に現在の7割に減少し、65歳以上人口がおよそ4割を占める」という。つまり、現在の高校生が高齢者になった時にも日本は超高齢社会であり続ける。現在の高齢化率は3割弱なので、それさえも大幅に上回っている。国会では2026年度予算の審議がスタートしている。高齢者に係る医療福祉予算は将来も続く高齢社会の未来を占うという意味も持っている。高齢者人口への負担感を強めるだけの議論では将来は暗い。社会保障は暮らしに安心を届け、国を強くする面も併せ持っていることを忘れたくない。少子高齢者会が予想を超えたスピードで進む中で、高齢協の役割や将来像を新たにしなければならないと思っている。多くの方々との出会いを期待しています。今年もよろしくお願いいたします。



生活協同組合・さいたま高齢協  
理事長 坂林 哲雄

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年2025年は、国際協同組合年として、世界的に協同組合の価値と役割が改めて注目された一年でした。

私たちもまた、地域に根ざした活動を通じて「相互扶助」「連帯」という協同組合の原点を見つめ直し、その意義を実感した年でありました。

そして今年は、丙午(ひのえうま)の年を迎えます。「火」と「午」の組み合わせから、激しさを力に変え、逆境を乗り越えていく力を授けてくれる干支です。昨年度確認した協同の価値と力を次の時代へと確かな形でつなげていく、まさに重要な節目の年であると考えております。

私たちを取り巻く環境は依然として変化が速く、課題も多岐にわたっておりますが、こうした変化を恐れることなく、協同の精神を土台に、互いを支え合いながら前へ進む力こそ、私たちの最大の強みです。

今年も、持続可能で健全な組織運営と、地域社会への貢献を一層推し進めてまいります。

結びに、今年が皆さま一人ひとりにとって、希望に満ちた実り多い一年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



埼玉県勤労者生活協同組合  
理事長 柳川 聡一

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、日頃よりこくみん共済coopの運動と事業に格別なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、雪害や大規模山林火災、秋には相次ぐ台風により八丈島に甚大な被害が生じました。迫りくる大規模自然災害を自分事として、普段から備えておくことが大変重要です。

こくみん共済coopとしても、「防災・減災」の大切さを皆さまにお伝えするとともに、万一の際には1日も早い生活再建のお役立ちが行えるよう努めてまいります。

今後もこくみん共済coopは、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現に向けて、他の協同組合との連携をさらに強化し、組合員の皆さまが安心して生活が送れるよう、安心と信頼の「共済生活協同組合」の役割を果たしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



埼玉県労働者共済生活協同組合  
理事長 近藤 嘉

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

2025年は新学期と食の事業や活動を軸としながら学生の大学生活を支えてきました。

2026年、私たちは学生・教職員のくらしと学びを支える使命を改めて胸に刻み、より一層の挑戦を進めてまいります。物価上昇や社会変動により、生協はこれまで以上に地域・大学と連携し、安心できる生活基盤と誰もが参加し支え合える場づくりが求められています。

本年は、組合員の声に寄り添い、組合員参加と事業の質向上を通じ、利用者に選ばれ続ける生協をめざします。また、地域・大学と連携しながら大学生活が充実したものとなるよう取り組みを進めてまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。



埼玉大学生生活協同組合  
専務理事 佐々木 誠司

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、学生のキャンパスでの活動も活発さを取り戻しつつあり、生協店舗にも笑顔が戻ってきました。一方で、学生数の減少など

厳しい経営環境は続いておりますが、生協では学生の学びと生活を支える役割を改めて見つめ直しています。新入生に在校生おすすめのパソコンを販売したり、3年生や4年生に就職活動に役立つ商品を提案したりして、学生一人ひとりの成長を応援します。また、文京店では在学生のニーズにあった取り組みを強化し、利用拡大と経営の安定を目指してまいります。

本年も、学生や教職員の皆さまと共に歩む生協でありたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



跡見学園女子大学生生活協同組合  
専務理事 赤松 瑞枝